

目 次

刊行にあたって

まえがき..... 1

第1章 序 説

§1.1 量 と 数..... 3

§1.2 2 項 関 係..... 10

§1.3 写 像..... 20

§1.4 変換と関数の集合..... 32

第2章 算 法

§2.1 算法をもつ集合..... 41

§2.2 準同型写像と合同関係..... 59

§2.3 半群と群, 算法概念の拡張..... 74

第3章 環

§3.1 環 の 概 念.....111

§3.2 環 の 構 成.....129

§3.3 イデアルと素元分解.....166

第4章 加 群

§4.1 準 備.....205

§4.2 加群の概念.....210

§4.3 準同型, 商加群.....226

§4.4 直和と分裂.....241

§4.5 極大性と極小性.....257

§4.6 主イデアル整域上の加群.....269

§4.7 線型環とその上の加群.....291

第5章 Hom と \otimes

§5.1 準同型加群.....303

§5.2 普遍性, テンソル積	320
第6章 可換環	
§6.1 有限性と整元	347
§6.2 イデアル, 局所化	360
§6.3 Dedekind 環	373
§6.4 イデアルの根, Hilbert 環	399
§6.5 Noether 環	412
§6.6 環の拡大と素イデアル	433
第7章 非可換環と加群	
§7.1 群の表現	453
§7.2 単純・半単純加群	468
§7.3 半単純環	488
§7.4 一般の加群	507
§7.5 環の根基, Artin 環	527
第8章 分離性と単純環	
§8.1 準備	553
§8.2 Frobenius 環と分離性	570
§8.3 中心的単純環	590
参 考 書	613
解 答 ・ ヒ ン ト	615
索 引	

